

経済学基礎

-第1回 経済学とはどういう学問か-

菅 史彦

内閣府 経済社会総合研究所

経済学とはどういう学問か

- ① 経済学とは
- ② 経済学が扱う問題
- ③ 経済学（者）が目指すもの
- ④ 経済学は『科学』なのか
- ⑤ 結局経済学とは…
- ⑥ ミクロ経済学とは
- ⑦ マクロ経済学とは

経済学とは

教科書的な定義

- 経済事象やその構造を研究する学問。
- 個人、企業、政府、さらに社会にあるその他の様々な組織（集団）が、どのように選択し、そうした選択によって社会の資源がどのように配分されるのかを研究する学問

→ 結局なんなのがよくわからない。

経済学（者）が取り組む問題

- いま消費税を増税するべきか？
- 最低賃金を 1000 円まで上げるべきか？
- TPP は日本にとって有益なのか？
- 大学に行くことで賃金はどのくらい上がるのか？
- 1990 年代にアメリカで治安がよくなったのはなぜか？
- 相撲取り達は八百長をしたのか??

→ なぜ相撲の研究が経済学のトップジャーナルに？

経済学（者）が目指すもの

経済学（者）が目指すのは、

- 株で儲けること？
- 将来の経済・社会に関する予測をすること？
- 制度・政策をデザインすること。

経済学（者）が目指すもの

制度・政策をデザインするためには、

制度・政策の変更に個人・企業がどんなふうに反応するのか

が重要。すなわち、**インセンティブ**が大事

そのため、「経済モデル」は最低限

個人や企業が直面する制約条件とインセンティブを明示的に取り入れた最適化問題を解く

ものになっている必要がある。

→ 相撲の八百長は、**誤った制度設計**が力士に与える**インセンティブ**によって、望ましくない結果（＝八百長）が起こる例。

経済学（者）が取り組む問題

政策・制度が与えるインセンティブを考慮し、個人の意思決定とその結果として実現する資源配分に関するものなら、全て経済学の分析対象である。

- 腎臓移植を待つ患者とドナーをどのようにマッチさせるか？
- 周波数帯の割り当てをどのようにして決めるか？
- 小さい選挙区から一人ずつ選ぶべきか、大きい選挙区から複数人選ぶべきか？
- 晩婚化は女性の就業条件向上の結果か、それとも出産可能年齢が上昇したためか？

経済学は『科学』なのか

- 経済学はしばしば**エセ科学**と揶揄される。
 - 経済学者は他の社会科学分野の研究者から疎まれる。
 - **数学を使う必要なんてないんじゃないか？**とされている。
 - しかし数学を使わずに議論すると…
 - 同じ前提（仮定）のもとで話しているはずなのに、なぜか異なる主張をする人達が出てきて喧嘩する。
 - 声が大きい方が正しいように聞こえる。
 - 司会者が支持する方がなんとなく正しい感じになってしまう。
- 数理モデルを使うことによって、少なくとも**論理的な矛盾は生じない**ようにして、仮定（公理）について論じるべき。

結局…

経済学とは、

- ざっくり言えば**数学を使った社会科学**であり、
- 対象は何でもいい。例えば政治、教育、その他社会に関わる
こと全てが分析対象である。
- **制度・政策をデザイン**することを目指す。
- そのために、ある制度・政策のもとで、個人や企業がどのよ
うに選択し、その結果としてどのような資源配分が実現する
のかを分析する。

ような学問である。

この授業では、基礎的な**ミクロ経済学・マクロ経済学**の理論をカ
バーする。

ミクロ経済学とは

- **ミクロ経済学**は個々の経済主体（個人・企業）が直面する意思決定の問題を分析する分野。例えば…
 - 所得税を増税し、代わりに地域振興券を配ったら、家計の消費はどうか。
 - 大学の授業料を無償化したら、どれくらい平均賃金は上がるのか。
 - 企業同士の合併は、その後の収益にどのように影響するのか。といった問題を扱う。
- 個人や企業が直面する問題を、制約付きの最適化（効用最大化、利潤最大化、費用最小化）問題として定式化する。
- 最終的に集計するにしても、個々の経済主体の行動に重きがあるならば、ミクロ経済学のトピックとして扱う。

マクロ経済学とは

- **マクロ経済学**は経済全体、国全体、世界全体を大雑把に分析する分野。例えば…
 - マイナス金利が日本の経済成長に与える影響。
 - 増税をして、その分公共事業にお金を使ったらどうなるか。
 - アメリカが金利を上げると、日本の GDP はどうなるか。といった問題を扱う。
- いろいろな経済モデルによる定式化があり得る。マルクス経済学 VS 近代経済学、新古典派 VS ケインジアンなど、いろいろな対立軸がある。
- 現代のマクロ経済学は、**ミクロ的な基礎付け**があるマクロ経済学しか認めないという立場が主流であるが、それに対しても賛否ある。

なぜ経済学を学ぶのか

- 日々直面する選択について、あらためて考えるきっかけになる。
- ニュースを見て、新聞を読んで考えることの幅が広がったり、新しい発見が生まれる。
- 数学ができる人にとって、エンジニアになる以外の新しい可能性を拡げるかもしれない。